

1 自転車、歩行者、自動車の安全な共存について

ただいまの^{とやまひでと}外山秀翔議員のご質問にお答え申し上げます。

自転車、歩行者、自動車の安全な共存についてであります。交通安全対策は安心して暮らせる地域づくりの重要課題の一つと考えます。

市では交通事故の^{こんぜつ}根絶を目指し、警察や交通安全協会、また交通指導員や市民の皆さんと連携し、^{きせつごと}季節毎に^{じっし}実施する交通安全運動の

^{けいはつ}啓発や、児童生徒の通学時間帯での^{がითうしどう}街頭指導、小中学校の交通安全教室では正しい自転車の乗り方を指導するなど、様々な活動を行って

おります。こういった取り組みにより、市内における交通事故は年々

減少傾向ではあります。それでも昨年度は、259件の交通事故が

発生しております。そして、259件の交通事故のうち、自動車と自

転車の事故が17件あり、自転車に乗っていた1名が^な亡くなられてお

ります。また、人と自転車の事故は1件あり、その事故の加害者は、

自転車を運転していた高校生でした。自転車は、事故に^あ遭うと^{おおけが}大怪我

をする危険性が高く、加害者になる場合もございますので、皆様におかれましても、是非交通ルールを守ってお乗りいただきたいと思えます。

自転車、歩行者、自動車の安全な共存についてですが、^{せま}狭い道路の多い本市においては、自転車と歩行者兼用の専用道路の設置を、早期に実施することは難しいため、現在は通学路等学校周辺の道路の白線やグリーンベルトの設置などを計画的に進めることにより、可能な限り通行区分の明確化を進めているところであります。

平成28年度の交通安全スローガンは、「安全は ^つ積み^{かさ}重ね」です。一人一人がちょっとした注意と、^{ゆず}譲り^あ合いの気持ちをもっていただくことで交通事故は防げます。皆さんも学校に戻られましたら友達にお話しいただき、交通安全への意識の^{こうよう}高揚を図っていただきたいと思えます。

以上申し上げまして、^{とやまひでと}外山秀翔議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。